

シラバス記入についての留意事項

入稿項目 (*必須項目)	留意事項・記入例	最大 行数
授業概要 (*) 記入分量の目安： 最大行数の1/2以上	授業科目の持つ意義を示し授業の全体を把握できるよう、概要・テーマなどを記入してください。	5行 (250字)
到達目標 (*) 記入分量の目安： 最大行数の1/2以上	授業の履修によって、学生が何をどの程度修得することが期待されているのかを記入して下さい。「教員が何を教えるか」ではなく「学生が何を身につけるか」という視点で作成することがポイントです。学生の努力目標となるような具体的な内容を記入してください。 (例1) 国際法総論 国際法の基礎的な知識を習得し、国際社会を法的視点で説明することができる。 (例2) 実践英語 旅行やビジネスに対応できるレベルの会話力を身につける。また、英語での簡単なメールのやり取りができるようになる。 (例3) 理科教育法 1. 中highで教える基本的な理論(相対性理論など)について説明できる。 2. 最終的に模擬授業を実施し、実践的な授業の感覚を身につける。	5行 (250字)
授業計画 (*) 記入分量の目安： 最大行数の1/2以上	授業の目的・目標に到達する過程として、講義回数分の授業内容を記入してください。各回の授業がどのように展開されるのかというイメージをつかめるように作成することがポイントです。 実習やゼミなど、講義ごとのスケジュールを決めることが難しい授業形態の場合は、(例2)のような書き方で対応してください。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(例1) 講義科目の場合</p> <p>第1回 食品とその働き</p> <p>第2回 食品成分と栄養素 (水分と糖質)</p> <p>第3回 食品成分と栄養素 (タンパク質)</p> <p>⋮</p> <p>第15回 栄養素の消化と吸収 ※1</p> <p>第16回 筆記試験 ※2</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(例2) 演習科目の場合</p> <p>1. オリエンテーション</p> <p>2~5 研究テーマの検討</p> <p>(1)卒業論文テーマ(構想)の発表</p> <p>(2)論文の読み方、資料収集の基礎</p> <p>6~14 先行研究について</p> <p>(1)論文の輪読、グループ発表</p> <p>(2)先行研究まとめ</p> <p>15. 卒業研究中間発表</p> </div> </div> <p>※1：同じテーマが数回続く場合は、(1)、(2)などではなく、各回のサブテーマを記入してください。</p> <p>※2：期末試験を除いて授業回数を15回確保する必要があります。期末試験を行う場合は16回目にその旨を記入してください。</p>	20行 (1000字)
評価方法・基準 (*)	評価にあたって、その方法と基準を具体的に記入してください。複数の評価方法を使用する場合は、その配分割合を明記してください。なお、授業への出席は成績評価の前提であり、出席したことのみで一定の評価を与えること、及び学生が誤解するような表現(出席点〇%)は避けてください。授業への参加度を評価する場合は、「平常点」や「授業態度」とし、それらは具体的にどのようなことを意味するのかについて記述してください。 (例1) 期末試験70% レポート30%	5行 (250字)

	(例2) 授業への積極的関与度(50%)と提出されたレポートの内容(50%)で評価する。 (例3) 平常点(授業中の発言・発表内容・課題への取り組み方)40%、最終試験60%で評価する。	
準備学習(予習・復習等)(*)	単位の実質化を図るために学習時間の確保が求められます。学生の準備学習(予習・復習)として必要な時間またはそれに準じる程度の具体的な学習方法・内容を記入してください。学生の自主学習の助けとなるような記載をし、「特になし」等の記載は避けてください。 (例1) テキストの指定箇所を事前に読み、分からない単語を調べた上で授業に出席すること。 (例2) 毎回講義時に課題を出すので、次の講義までにやっておくこと。 (例3) 講義予定の教科書の範囲を毎日20分程度予習するとともに、講義で用いた資料については毎日20分程度復習し、要点をまとめておくこと。	4行 (190字)
履修上の留意点(*)	事前に獲得しておくべき知識・技能、履修したほうがよい関係科目、あるいは求められる受講姿勢について記入してください。	4行 (190字)
教科書	受講する上で必ず購入しなければならない書籍について、書名、著者名、出版社、価格を記入してください。	
参考となる書籍・URL	授業では必ずしも使用しないが、授業をより理解するために推薦される書籍・Webサイトについて、書名、著者名、出版社、価格、URL等を記入してください。 (例1) 青葉桜子『宮城学院のあゆみ』(MG出版)2000円 (例2) 宮城学院女子大学ホームページ { http://mgu.ac.jp }	3行 (150字)
備考	自由記入欄です。また、教科書を4冊以上使用する場合は、4冊目以降はこちらに記入して下さい。	3行 (95字)

<ご参考>

学士課程教育の構築に向けて(答申) 平成20年12月24日中央教育審議会より

シラバスに関しては、国際的に通用するものとなるよう、以下の点に留意する。

- 各科目の到達目標や学生の学修内容を明確に記述すること
- 準備学習の内容を具体的に指示すること
- 成績評価の方法・基準を明示すること
- シラバスの実態が、授業内容の概要を総覧する資料(コース・カタログ)と同等のものにとどまらないようにすること